

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日

東

上場会社名 株式会社極楽湯

上場取引所

コード番号 2340

URL <http://www.gokurakuyu.ne.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 新川 隆文

問合せ先責任者(役職名) 取締役専務執行役員 管理部長

(氏名) 松本 俊二

(TEL) 03-5275-0580

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日~平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	8,457	17.4	△217	—	△221	—	△144	—
26年3月期第3四半期	7,203	△0.8	△196	—	△148	—	△102	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 △171百万円(—%) 26年3月期第3四半期 24百万円(△80.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△12.02	—
26年3月期第3四半期	△10.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	15,690	5,481	27.4
26年3月期	13,908	4,213	29.6

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 4,304百万円 26年3月期 4,117百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日~平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,120	20.6	230	—	210	436.6	145	—	13.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 1社(社名) 極楽湯中国控股有限公司、除外 1社(社名)  
(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	13,368,400株	26年3月期	11,728,000株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	917,675株	26年3月期	917,675株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	11,999,877株	26年3月期3Q	9,678,654株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による経済・金融政策を背景に輸出企業などの一部で業績や雇用情勢の改善が見られる一方、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化や円安進行による原材料価格等の上昇もあり、全体として力強さを欠く展開から脱し切れておりません。

温浴業界におきましても、消費者の節約志向や低価格志向の長期化、連続した台風上陸やゲリラ豪雨などの天候不順による客足減に加え、エネルギーや原材料をはじめとする諸コストの増大など厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、お客様のニーズの変化をいち早く感じとり迅速に対応できる企業としての総合力を強く意識したうえで、より一層の安心・安全そして高品質なサービスを提供することに取り組んでまいりました。

また、国内では4月に「極楽湯 水戸店」、8月に新ブランド・新コンセプトとなる「RAKU SPA鶴見」を新たに开店し、10月に「極楽湯 浜松佐鳴台店」を直営化いたしました。

海外では好調な海外1号店の更なる業績向上に加え、海外2号店の开店に向けての準備を進めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,457百万円（前年同期比17.4%増）、営業損失は217百万円（前年同期営業損失196百万円）、経常損失は221百万円（前年同期経常損失148百万円）、四半期純損失は144百万円（前年同期四半期純損失102百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりです。

#### ① 日本

当セグメントにおきましては、売上高7,463百万円（前年同期比10.7%増）、セグメント損失（営業損失）は149百万円（前年同期セグメント利益188百万円）となりました。

10月以降は、来店客数に回復の兆しが見られるものの、引き続き個人消費は力強さを欠いており、厳しい状況が続いております。一方で、「極楽湯 水戸店」「RAKU SPA鶴見」の新規オープン、「極楽湯 浜松佐鳴台店」の直営化により第3四半期の累計期間（4月～12月）の売上高は増加しました。また、セグメント損失（営業損失）は、来店客数の減少をお客様単価の上昇や付帯サービスでカバーするまでに至らなかったことに加え、エネルギーや原材料などの諸コストが前年同期比で増大したことや新店の开店費用を計上したことにより、第3四半期の累計期間（4月～12月）のセグメント損失は149百万円となりました。

#### ② 中国

当セグメントにおきましては、売上高1,023百万円（前年同期比110.8%増）、セグメント利益（営業利益）は75百万円（前年同期セグメント損失219百万円）となりました。

中国における業績も国内と同様に季節的変動があり、日本の第3四半期に当たる7月～9月の業績は比較的厳しい時期と言えます。しかし、上海（中国）において極楽湯ブランドが浸透する中、積極的な営業活動や施策を行なった結果、前期を上回る来店客数につなげることができました。その結果、第3四半期の累計期間（1月～9月）では、特に春節（旧正月である2月上旬）期間の業績が好調であったことに加え、収益計上期間が9ヶ月（前年同期は約8ヶ月）とフルに寄与したため、売上、利益ともに大幅に改善いたしました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,781百万円増加し15,690百万円となりました。これは主に、新店の开店により有形固定資産が1,479百万円増加したことによるものであります。

次に、負債合計は、前連結会計年度末に比べ513百万円増加し10,209百万円となりました。これは主に、新店の工事完成による建築代金の支払いにより未払金が471百万円減少した一方で、前連結会計年度に締結したシンジケート・ローンを実行し長期借入金が増加したことによるものであります。

最後に、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,267百万円増加し5,481百万円となりました。これは主に、香港子会社の株式の一部売却（49%）したことにより少数株主持分が1,122百万円増加したことによるものであります。また、自己資本比率につきましては、27.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月15日の決算短信で発表しました業績予想に変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成26年4月に中国における事業展開の統括を目的に極楽湯中国控股有限公司(香港)を設立しました。その結果、第1四半期連結累計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,868,094	3,911,100
売掛金	108,104	103,826
未収入金	11,359	13,206
たな卸資産	40,382	87,037
繰延税金資産	49,265	37,840
その他	213,816	190,812
流動資産合計	4,291,021	4,343,823
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,459,495	7,890,661
工具、器具及び備品(純額)	279,076	403,306
リース資産(純額)	4,602	2,088
土地	182,051	182,051
建設仮勘定	1,488,540	415,130
有形固定資産合計	7,413,766	8,893,237
無形固定資産		
投資その他の資産	208,347	224,151
投資有価証券	28,950	29,245
長期貸付金	94,248	82,155
繰延税金資産	523,559	525,135
敷金及び保証金	792,844	905,861
その他	560,570	645,789
貸倒引当金	△4,500	△4,500
投資その他の資産合計	1,995,672	2,183,687
固定資産合計	9,617,787	11,301,076
繰延資産	-	45,646
資産合計	13,908,808	15,690,546

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	307,243	317,302
短期借入金	-	100,000
1年内償還予定の社債	115,800	115,800
1年内返済予定の長期借入金	2,020,828	2,124,278
未払金	868,053	396,101
未払法人税等	39,307	6,507
前受金	810,605	805,124
賞与引当金	52,609	34,095
その他	316,523	383,930
流動負債合計	4,530,971	4,283,140
固定負債		
社債	342,900	285,000
長期借入金	4,091,248	4,760,172
退職給付に係る負債	88,490	95,385
資産除去債務	358,962	476,294
その他	283,035	309,486
固定負債合計	5,164,636	5,926,339
負債合計	9,695,607	10,209,479
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,061,053	2,311,287
資本剰余金	2,171,953	2,357,325
利益剰余金	△67,278	△211,506
自己株式	△356,138	△356,138
株主資本合計	3,809,590	4,100,967
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△999	△704
為替換算調整勘定	308,966	204,625
その他の包括利益累計額合計	307,967	203,921
新株予約権	95,643	53,234
少数株主持分	-	1,122,943
純資産合計	4,213,201	5,481,066
負債純資産合計	13,908,808	15,690,546

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	7,203,189	8,457,078
売上原価	6,808,948	7,955,322
売上総利益	394,241	501,756
販売費及び一般管理費	590,428	719,574
営業損失(△)	△196,186	△217,817
営業外収益		
受取利息	7,640	11,929
受取家賃	14,271	14,167
為替差益	49,366	-
協賛金収入	24,571	42,888
その他	19,382	24,778
営業外収益合計	115,232	93,764
営業外費用		
支払利息	61,745	76,524
その他	5,609	20,744
営業外費用合計	67,355	97,268
経常損失(△)	△148,309	△221,322
特別利益		
新株予約権戻入益	81,356	4,658
子会社株式売却益	-	147,920
その他	29	-
特別利益合計	81,386	152,579
特別損失		
固定資産除却損	6,938	1,628
その他	48	-
特別損失合計	6,986	1,628
税金等調整前四半期純損失(△)	△73,909	△70,370
法人税、住民税及び事業税	32,003	68,222
法人税等調整額	△3,840	10,284
法人税等合計	28,162	78,507
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△102,072	△148,878
少数株主損失(△)	-	△4,650
四半期純損失(△)	△102,072	△144,228



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△102,072	△148,878
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,855	295
為替換算調整勘定	124,660	△23,358
その他の包括利益合計	126,515	△23,063
四半期包括利益	24,442	△171,941
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,442	△248,274
少数株主に係る四半期包括利益	-	76,332

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

新株予約権の行使により、当第3四半期連結累計期間において資本金が250百万円、資本剰余金が250百万円、それぞれ増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金は2,311百万円、資本剰余金は2,357百万円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,717,690	485,499	7,203,189	—	7,203,189
セグメント間の内部売上高又は振替高	26,647	—	26,647	△26,647	—
計	6,744,338	485,499	7,229,837	△26,647	7,203,189
セグメント利益又は損失(△)	188,474	△219,369	△30,894	△165,291	△196,186

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去△26,647千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△138,644千円であり、当該全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 報告セグメント「中国」の連結子会社の決算日は12月31日であるため、当第3四半期連結累計期間には、平成25年1月1日から平成25年9月30日までの業績が反映されております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,433,485	1,023,593	8,457,078	—	8,457,078
セグメント間の内部売上高又は振替高	30,053	—	30,053	△30,053	—
計	7,463,538	1,023,593	8,487,131	△30,053	8,457,078
セグメント利益又は損失(△)	△149,838	75,203	△74,634	△143,183	△217,817

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去732千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△143,916千円であり、当該全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 報告セグメント「中国」の連結子会社の決算日は12月31日であるため、当第3四半期連結累計期間には、平成26年1月1日から平成26年9月30日までの業績が反映されております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。